

# 香港株式市場フラッシュ

## EV は中国優位・スマホと融合へ、先端半導体は更なる試練の道

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: [kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp](mailto:kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp)

フィリップ証券株式会社

2023年10月25日号(10月25日作成)

### “電気自動車(EV)における中国企業の優位”

EV メーカーのBYD(1211 香港)は7-9月のEV販売台数が前年同期比23%増の43万1603台と、販売世界一の米テスラ(43万5059台)に肉迫した。

中国企業はEVのバッテリー製造で重要な資源であるリチウムの供給網で川上から川下まで重要な位置を占めている。リチウム自体はオーストラリアとチリで世界の約8割を占めるものの、**ガンフォンリチウム(1772 香港)**のように中国企業は世界各地の鉱山の権益を積極的に買い付けている。

更に、中国は世界生産の約8割を占め、車載電池の負極材として使われる黒鉛(グラファイト)についても12月より輸出を許可制とした。黒鉛の相場が需給ひっ迫に伴って高騰するようであれば中国で黒鉛(石墨)の生産と販売を手掛ける**中国石墨集団[チャイナ・グラファイト・グループ](2337 香港)**への恩恵となる。

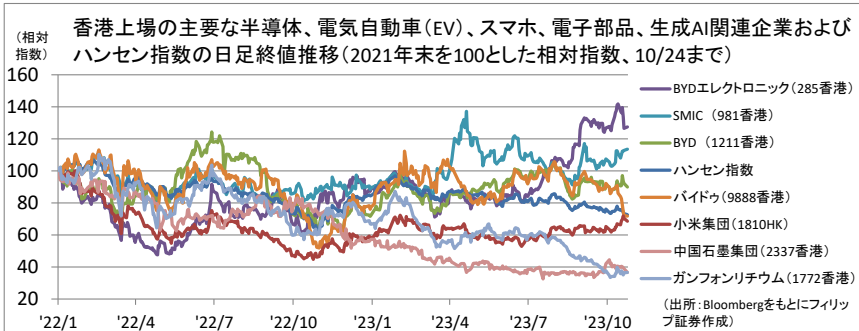
この中国による黒鉛の輸出規制は、欧州市場での中国政府による中国製EVへの補助金を調査すると決めたEU(欧州連合)や、中国への半導体輸出を制限する米国への対抗措置とみられている。それでも、高性能を必要としない車載半導体への制裁は限定的とみられ、EV製造の供給網をコントロールすることで中国企業はV製造をコスト面で海外自動車メーカーより有利な立場にあるといえよう。

中国では現在、EVがスマホと融合する動きが進んでいる。自社EVとスマホをシームレスに接続し、自動運転ソリューションの一環としてスマホアプリなどを通じて様々な自動車本体のハードを制御することを各社が競っている。BYDは傘下の**BYDエレクトロニック(285 香港)**がスマホ部品拡大を目的として米大手EMS(製造受託)企業のジェイベルの中国事業を買収。大手スマホメーカーの**小米集団(1810 香港)**は2024年のEV量産に向けて積極的な投資を行っている。同社によるEV生産計画は今年8月、中国国家発展改革委員会(NDRC)に承認された。このようなEVとスマホの融合により、低迷するスマホの新たな需要が喚起されることも期待されよう。

### “米国による先端半導体輸出規制の強化は試練の道”

米商務省は昨年10月、スパコンや人工知能(AI)に使う先端半導体やその製造に必要な装置・技術について中国への輸出を事実上禁じた。更に、半導体製造装置に強みを持つ日本とオランダにも同調するように求めた。中国が軍事的に優位に立ち得る最先端半導体技術の開発を阻止することがその狙いだった。しかし1年足らずでバイデン政権はこの規制を強化する事態に追い込まれ、抜け穴を塞ぐことを目的として輸出規制の拡大に踏み切った。特に生成AIモデル構築に必要な画像処理半導体(GPU)について、同GPUで世界の市場をほぼ独占している**米エヌビディア**は新たな中国向け輸出規制について10/23から実施したと発表した。

通信機器大手ファーウェイが今年8月末に発売した5G通信対応スマホに7ナノ(10億分の1)メートルの先端半導体が搭載されていたことが、バイデン政権による規制強化の契機となったとみられる。この先端半導体は中国の半導体受託生産大手の**中芯国際集成电路製造(SMIC)(981 香港)**が受託生産した製品とされる。国産半導体調達のため、SMICには今後も中国政府による手厚いサポートが期待されよう。他方、既にエヌビディアからの先端半導体に代替するGPUを大量に調達しているとしても、IT大手の**百度[バaidu](9888 香港)**は、より高性能な生成AIサービスの提供に行き詰まる可能性がある。



### ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全96銘柄)における終値の昨年末末騰落率

前回基準日: 20231010 基準日: 20231024

順位	2022年末騰落率・上位10銘柄 (%)	前回順位	
1	中国石油天然気 [ベトロチャイナ]	68.0	1
2	理想汽車	65.6	2
3	中国海洋石油 [CNOOC]	49.6	5
4	比亞迪電子(国際) [BYDエレクトロニック]	44.1	4
5	小鵬汽車	43.8	3
6	網易 [ネットイース]	38.8	6
7	联想集团 [レノボ・グループ]	34.5	7
8	中国移動 [チャイナモバイル]	31.4	9
9	HSBCホールディングス	27.7	8
10	中芯国際集成电路製造 [SMIC]	26.8	13

順位	2022年末騰落率・下位10銘柄 (%)	前回順位	
96	CG SERVICES (碧桂園服務)	-64.0	96
95	JDDットコム	-56.7	92
94	李寧[リーニン]	-54.8	95
93	万国数拠服務 [GDSホールディングス]	-53.3	94
92	中升控股 [ファンサン・グループ・ホールディングス]	-53.3	93
91	JD Health International Inc (京東健康)	-47.3	91
90	龍湖集團 [ロンフォー・グループHldg]	-44.6	90
89	ピリピリ	-41.3	88
88	新奥能源控股[ENNエナジー・ホールディングス]	-40.5	86
87	Budweiser Brewing Co APAC Lt	-40.4	80

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

### 【2023年10・11月中国主要経済指標】

- 10月13日(金)
  - ・9月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+0.1%、結果±0.0%
  - ・9月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲3.0%、結果▲2.5%
  - ・9月貿易収支: 前回+683.6億USD、結果+777.1億USD
  - ・9月輸出<前年同月比>: 前回▲8.8%、結果▲6.2%
  - ・9月輸入<前年同月比>: 前回▲7.3%、結果▲6.2%
  - ・9月資金調達総額: 前回3.12兆元、結果4.12兆元
  - ・9月新規人民元建て融資: 前回1.36兆元、結果2.31兆元
  - ・9月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+10.6%、結果+10.3%
- 10月18日(水)
  - ・3Q(7-9月)GDP<前年同月比>: 前回+6.30%、結果+4.9%
  - ・9月小売売上高<前年同月比>: 前回+4.6%、結果+5.5%
  - ・9月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+4.5%、結果+4.5%
  - ・1-9月固定資産投資<前年同月比>: 前回+3.2%、結果+3.1%
  - ・1-9月不動産投資<前年同月比>: 前回▲8.8%、結果▲9.1%
  - ・9月調査失業率: 前回5.2%、結果5.0%
- 10月19日(木)
  - ・9月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.29%、結果▲0.30%
- 10月20日(金)
  - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.45%、結果3.45%
  - ・5年ローン・プライムレート: 前回4.20%、結果4.20%
- 10月27日(金)
  - ・1-9月工業利益: 前回▲11.7%
- 10月31日(火)
  - ・10月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.2
  - ・10月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回51.7
- 11月1日(水)
  - ・10月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.6
- 11月3日(金)
  - ・10月(財新)サービス部門PMI: 前回50.2
- 11月7日(火)
  - ・10月外貨準備高: 前回3.11兆USD

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項＞

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。